

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達センターあかいしの森		公表日 令和7年3月25日			
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 体制 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	7		・教具教材は持参しない。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・訪問できる職員が少ないので、増えるとよいと思います。 ・兼務で配置。	・兼務での配置が基本となる。その中で依頼状況に応じて訪問職員を検討していく。
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・部署ごとに話が出来る。 ・訪問をする職員の他に、クラス職員とも共有している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	・意向を振り返ってという所まではできていない。	・保護者向け評価表の内容を全職員に回覧し、保護者様の意向に対しての具体的な対応を確認していく。
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・分からない。	・事業所評価自己評価等を通じて意見を把握する機会を今後も設け、業務改善に繋げていく。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・研修の機会が多いと感じている。 ・個人で研修を受けている。	・今後も研修の機会を確保していく。
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	1	・訪問前に事前に確認している。	・訪問先担当者と児童発達支援管理責任者(調整役)との事前の情報共有内容を訪問支援員に確実に伝えていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		・今後も保育所等訪問支援ガイドラインの内容を確認する機会を設ける。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・次の日に行っている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1		・各訪問支援の際に、次回の利用予定やモニタリング等の見直しを確認し、個別支援計画の内容にも反映させていく。	
関 係 機 関 や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	21	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・地域校では、今までやったことがない。	・訪問支援員によっては、地域校での支援を実施した事がない職員も在籍している状況。体制は整えているので、今後も依頼状況に合わせて訪問先及び訪問支援員の調整を行う。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	・その時に依頼があったり、必要性がある場合にのみ。	・サービス担当者会議等を通して情報共有を実施しているので、今後も継続していく。

保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7		・外部研修を行って欲しい。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	4	・今年度、私自身は参加できていない。	・限られた機会になるので、支援現場と調整しながら内容に相応しい職員が参加できるよう留意していく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	・日常的には行えていない。	・サービス依頼があった際には共通理解の基支援を実施していく。また保護者様からの発信があった際には丁寧に話を聞いていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・児発利用児のみとなっている。 ・必要に応じて。	・研修情報などがあれば発信していく。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6	1		・はじめに相談支援事業所を通し概要を説明し、具体的な支援内容については事業所からの説明を実施している。今後もこの流れを継続していく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		・クライアントの意思を尊重し、状況に応じて「こどもの最善の利益とは何か？」という視点を持ち続けながら、家族の意向を確認する機会を引き続き設けていく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5	・保育所等訪問としては実施していない。	・保育所等訪問の枠を超えてあかしの森ので実施するイベントや勉強会の際に、交流する機会として参加を促していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		・こどもや保護者からの相談や申し入れについて、迅速に対応出来る体制を取っているが「何が適切な対応なのか」をその都度チームで確認しながら対応にあたっていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	・私個人では行っていない。法人では行われている。	・今後も引き続き法人のホームページにおいて発信していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	5	2	・カンファレンスを行うこともあるが、できない場合もある。	・カンファレンスが出来ない時は、訪問記録において詳細を示していく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7		・訪問記録を保護者に配布し、必要に応じて関係機関等と内容を共有するために活用していただいている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	1		・今後も相談に応じ続けることで信頼関係を築きながら、専門的視点で対応するスキルを向上させていく。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・法人全体（他事業）では行われている。	・あかいしの森として作成しているマニュアルを周知していく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	・法人全体（他事業）では行われている。	・あかいしの森として作成しているマニュアルを周知していく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・忙しくてできない日も多い。	・ヒヤリハットを迅速に共有できる仕組み作りに取り組んでいる（簡潔に記録に残せる環境を整えている）
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	・必要に応じて行う。	・必要な状況があれば、こどもや保護者様への事前説明を行い了承を得た上で、個別支援計画に記載していく。